

〈Fタイプ・プログラム構成一覧〉

※※※※※※※※※※※※※※※※ 【70

1】

〈全体のプログラム構成〉

(1) 中目標1プログラム群

- ① 交通・消費生活
- ② 交際（含む：異文化、近隣交際）
- ③ 職場・自分学校
- ④ 健康
- ⑤ 通信（含む：郵便、電話）
- ⑥ 子弟教育
- ⑦ 社会福祉・手続き

(2) 中標2プログラム群

- ⑧ 一般教養
- ⑨ 日語自学

(3) 中標3プログラム群

- ⑩ 話題コミ
- ⑪ 文字・発音
- ⑫ 語彙・表現

(4) その他

- ⑬ オリエンテーション
- ⑭ 退所準備

〈各プログラムの骨組み〉

① 交通・消費生活プログラム

- 1) 日本の生活のイメージ化
- 2) 自力での行動達成に向け姿勢作り
- 3) 事前の情報収集、行動達成力の強化
- 4) 問題解決のための技能の向上
- 5) 退所に向けての準備

② 交際プログラム

- 1) 異文化への気付き
- 2) 近所付き合いのルールや習慣の知識
- 3) 交際一般の知識
- 4) 異文化事例研究
- 5) 退所に向けての準備

③ 職場・自分学校プログラム

- 1) 求職の準備
- 2) 職場の習慣
- 3) 異文化事例研究

- ④ 健康プログラム
 - 1) 健康と衛生の知識
 - 2) 医療制度の知識
 - 3) 病院利用の知識
 - 4) 家庭での病気への備え
- ⑤ 通信プログラム
 - 1) 郵便局利用に関する最小限の知識を得て、中国へ郵便物が送れる
 - 2) モデル文を参考にして、季節の挨拶状や近況報告の手紙が書ける
 - 3) 電話利用に関する最小限の知識を得て、電話器の操作（含む：発信者側の
 - 4) マナー）に慣れる
 - 5) 家族が不在時の電話受け（含む：受信者側の会話マナー）ができる
 - 6) 日常生活中、可能な範囲で積極的に電話を活用できる
- ⑦ 子弟教育プログラム
 - 1) 日本の学校制度や教育事情を知る
 - 2) 帰国者二世の進学事情を知る
 - 3) 小中学生の生活について知り、学校との連絡や必要な物の準備ができる
- ⑧ 一般教養プログラム
 - 1) 身近な暮らしの知識
 - 2) 日本の地理
 - 3) 日本の歴史・政治
 - 4) 一般的な情報メディア
 - 5) 余暇娯楽・家族事情
 - 6) 帰国者問題
- ⑨ 日語自学プログラム
 - 1) 日本的な学習技能（教材や道具の使い方）を身に付ける
 - 2) 自己評価の姿勢強化と単語を調べ蓄積するための技能を養う
 - 3) 退所後の自己学習管理の姿勢や技能を強化する
- ⑩ 文字・発音プログラム
 - 1) 文字についてのガイダンス
 - 2) 平仮名の導入と定着
 - 3) 漢字の導入
 - 4) 平仮名の運用力の向上
 - 5) 片仮名の導入
- ⑪ 話題コミュニケーションプログラム
 - 1) 非言語手段等も使って、初対面時の基本的な話題についてやりとりできる
 - 2) 1)より言語要素を増やして、初対面時の基本的な話題についてやりとりできる（質問する、質問される）
 - 3) 話題の拡張にも対応できるようになる
- ⑫ 語彙表現プログラム
 - 1) 耳からの語彙の導入

- 2) 単語レベルのやりとりの成立
 - 3) 聞き取り力・発話力の向上と文字を活用した学習方法の導入
 - 4) 表現文型の増加と運用力の向上
- ⑬ オリエンテーション・プログラム
- 1) 日本の生活ガイダンス
 - 2) センターの生活のガイダンス
 - 3) 日本語学習のガイダンス
- ⑭ 退所準備プログラム
- 1) 新生活に必要な知識と技能
 - 2) 近隣や公的援護者と良好な関係作り
 - 3) 4か月の学習に対する自己評価及び今後の自己学習の姿勢強化